

佐賀県生協連 2015 年度通常総会を開催しました

- ◇日 時：2015年8月24日（月曜日）10：00～11：30
- ◇会 場：佐賀県地域産業支援センター 第1研修室（佐賀市内）
- ◇参加代議員：25名（本人出席23名、書面議決書2名） ※代議員総数は25名
- ◇議 題：会長挨拶、来賓挨拶のあと、以下の議案が審議され、全議案とも満場一致で採択されました。

- 第1号議案 2014年度活動報告、決算報告及び剰余金処分(案)承認の件
- 第2号議案 2015年度活動方針及び予算決定の件
- 第3号議案 役員(理事10名、監事2名)選任の件
- 第4号議案 役員報酬決定の件
- 第5号議案 議案決議効力発生の件

※議案の採決終了後に、「**総会特別アピール**」が採択されました。(次ページに掲載)

※総会終了後に、理事会を開催して三役を選任し、総会参加者へ報告しました。

代表理事 会 長 喜多裕彦
副会長 市川智博
専務理事 石若廣治

※2007年度から8期にわたり佐賀県生協連の理事をされた竹下 勝 副会長が、定年にともない退任されました。



【審議の様子】



【議案提案】
佐賀県生協連
喜多裕彦 会長



【来賓】佐賀県
くらしの安全・安心課
中原義朗 課長



【来賓】日本生協連
九州地連
岡出洋次 事務局長

第43回通常総会・特別アピール

今こそ協同組合の役割を発揮して、人が人として大切にされ、安心して暮らせる社会を、共に築いていきましょう。

未曾有の東日本大震災と福島原発事故から4年が経過しましたが、未だに被災地の生活環境は厳しい状況が続いています。とりわけ、福島は放射能汚染の問題で、収束の目途すら見出せていない状況です。私たちは、引続き全国の生協の仲間とともに、支援・協力を行っていきます。

今年は戦後70年にあたりますが、多くの尊い犠牲と深い反省に立って生まれた平和憲法がないがしろにされ、時の政権が乱暴な解釈改憲で「集団的自衛権」を行使できるようにして、日本を「戦争ができる国家」へ変えようとしています。私たちは、「国民の人権と平和を国家権力から守る」という憲法の本旨からも、このような動きを容認することはできません。

加えて、佐賀空港への自衛隊オスプレイ部隊配備と米軍の訓練基地化構想についても、県との間の「公害防止協定」に反するだけでなく、日本を「戦争をする国」へ変えようとする一環であることから、撤回を求めています。

昨年4月の消費税引き上げと、急激な円安への誘導による輸入物価の上昇、年金・医療・介護など社会保障の後退、電気など公共料金の値上げなどにより、雇用労働者の実質賃金は減少しました。また、実体経済と関係のない金融経済が社会を動かしており、多国籍企業と中小企業、資産家と労働者間での税負担率格差、正規と非正規の労働条件格差、都市と地方の経済格差など、社会の中の格差と不安が一層拡大しています。

このような時にこそ私たち生協は、組合員の暮らしを守る役割と責任を果たしていかなければなりません。今こそ協同組合の役割を発揮して、人が人として大切にされ、安心して暮らせる社会を、共に築いていきましょう。

以上、決議します。

2015年8月24日
佐賀県生活協同組合連合会
第43回通常総会